



－ 定番のゲームをマスターする③ (新しい語彙に慣れ親しむ活動の充実) －

「定番のゲームをマスターする」と題した3回目、今回は、ジェスチャー・ゲームです。

できるだけ細かいニュアンス・感覚を伝えられるように今回も努力してみたいと思います。

Gesture Game (ジェスチャー・ゲーム)

語彙の練習でも使えますが、2・3語のフレーズの練習として効果的な活動の一つです。基本を確認しましょう。

- (1) ねらい・効果…ジェスチャーを見せて、それが何かを考えさせることによって、新しい語彙やフレーズに出会わせる際の抵抗を少なくする・和らげることが期待できます。もちろん慣れ親しみや習熟のための活動としても有効です。うまく活動ができると、「英語の音と意味がつながる」感覚が分かってくる気がします。いずれにしても、この活動は「明るく・楽しく」やりたいものです。ただ、中には「友だちの前でジェスチャーをすること自体にストレスを感じる」子もいるかもしれません。必ず全員やることにしたり、無理強いをしたりしないように気を付けたいものです。友だちの様子を「見て・聞いて」いるだけでも意味はあります。

- (2) 準備するもの…語彙やフレーズの導入で行うならA4サイズ程度のフラッシュカードが1セット、慣れ親しみや習熟で行うならL版程度のミニカードがグループ数必要です。
6年生が使う Hi, friends! 2の Lesson3 I can swim. や Lesson6 What time do you get up? Lesson8 What do you want to be? で行うのがオススメです。

- (3) 進め方 一斉で行う導入の段階と、グループで行う慣れ親しみや習熟の段階では進め方が異なります。
- ・ 導入
 - ・ 一通り語彙の意味を確認し、ある程度発音練習をした後に行います。指導者が、それらの中から一つ選んで自らジェスチャーをし、それが何であるかを児童に尋ねます。一斉に答える中で、英語の音と意味の一致を図ります。一斉に行うので、個々へのストレスのかかり方が弱いといえます。
 - ・ 習熟
 - ・ ある程度慣れてきたところで、いっそうの慣れ親しみや習熟を図る段階で行います。一人一人の練習の頻度が上がるので、ここはやはりグループ活動がオススメです。もちろん個別支援が必要な児童がいる場合は、担任の先生がサポートします。

- ① Make a group / groups of four. 〈ALT / HRT〉「4人グループを作ってください。」
一人が出題者となるので、4-6人グループぐらいがよいと思います。グループ活動に慣れている学級ではALTの指示でさっと動けますが、そうでなければHRTがきちんと指示をした方がよいでしょう。
- ② ALTがいれば、HRTと二人でデモンストレーションを見せます。グループを一つ使って見せます。
Put the cards together in the center of the desk, face down. 〈ALT〉
「カードをまとめて、机の真ん中に置きます。カードは伏せて置きます。」
カードを使ってやって見せるとよいでしょう。the cards together で集めるジェスチャーを、in the center of the desk で机の真ん中を示して、face down でカードを伏せるジェスチャーを、一つ一つ区切って示すのがポイントです。
- ③ Do rock scissors paper, 123. 〈ALT〉「ジャンケンをしてください。」
英語で説明をするALTが「(遅出し)ジャンケン」で勝ちます。
- ④ Winner, takes the top card. 〈ALT〉「勝った人が、一番上のカードを取ります。」実際に一枚取ります。
Look at the card. 「そのカードを見てください。」 It's a secret. 「内緒にしてください。」
取ったカードをこっそり見るジェスチャーをして。
- ⑤ Give a hint. 〈ALT〉「ヒントを出します。」そのカードのジェスチャーをします。
Raise your hand. 〈ALT〉「手を挙げてください。」手を挙げるジェスチャーといっしょに。
- ⑥ HRTは、I know! 「分かった!」という表情といっしょに、語彙やフレーズを英語で答えます。
- ⑦ Bingo! 「当たり!」 / Ok! 「いいよ!」 などと言いながら。
Your turn. New teacher. Take a new card. 〈ALT〉「あなたの番(先生役)だよ。新しいカードを取って。」

- (4) アレンジ ・ 語彙やフレーズの練習だけでなく、文章の練習にも活用できます。
例えば、リンゴのカードだったら I like apples. お医者さんのカードだったら I want to be a doctor. と答えるルールにするのです。(ローカル・ルールをどんどん考えればよいのです。)

- (5) 気を付けたいこと ・ デモンストレーションを見せられないと、日本語での説明がどうしても多くなってしまいます。
ALTがいないときは、一人二役でやって見せます。
・ カードを配るのは、デモンストレーションを見せて、ルールを押さえてからの方がよいでしょう。